

# 松坂よしのり

## 議会報告

令和6年春号

令和6年第1回定例会において一般質問を行いましたので一部ご紹介いたします。

## 1 インフラの被害想定と復旧について

本市は、首都直下地震の切迫性から地震発生時における下水道機能の確保、非常時優先道路や橋梁等の整備を進めている。インフラ機能の維持や早期復旧のため、平時からライフライン事業者と緊密に連携していくことが不可欠で、事前に十分な被害想定を行い、災害が発生した際には即座に初動体制に入る必要がある。平時からの協力・連携体制を速やかに構築しておく、災害時対応を強化しておくことが、大変重要である。

**質問** ライフライン事業者と更なる連携について。また、早期復旧に向けた取り組みについて伺う。

**回答** 新たに通信事業者を加えてライフライン連絡会を開催する。ライフライン事業者とのさらなる連携強化により、災害時におけるライフライン機能の早期復旧に向けて取り組む。

**要望** 定期的な会議の開催を行い、本市の被害想定調査や訓練等で顕在化した課題を明らかにし、対策をお願いする。 **結果、前進しました。**



## 2 避難所の適切な確保について

緑区では、萱田中学校区内の指定避難所で収容人数を試算した際に、地区内の避難所の収容可能な人数は、想定避難者数に対し690人不足するなど、地域内に位置する指定避難所施設収容可能な人数が、その地域の想定避難者人数に満たない地域があることを確認している。これから開発される同区、他地域(土気・鎌取)でも同じような現状がおこることも想定される。

**質問** 指定避難所となる施設が偏在し、想定避難者を収容し切れない地域があることについて伺う。

**回答** 千葉市直下地震の被害想定調査における避難所避難者数を収容できることとしている。分散避難を進めることで、特定の避難所に集中しないよう努める。

**要望** 千葉市の中には避難所に行きにくい地域がある。避難先を重点的に増やすことを要望する。 **結果、前進しました。**



詳しくはホームページをご覧ください。

市政に対するご意見をぜひお聞かせください!



## 令和6年度予算案を可決。市民生活のために。松坂吉則は市民要望の実現を推進しています。

**本音をズバリ!!** 採決の結果、共産党のみが市長提案の予算に反対しました。生活を支える、道路整備、ごみの処理、福祉政策、バス路線の維持など予算を可決できないと事業の執行ができません。市民生活に大きな影響が出ます。ですから、予算や議案に反対する議員の要望は実現できないのです。予算は最大会派の要望が数多く実現されています。皆様からの地域要望は実行力のある議員にお任せください。

令和6年度の予算は、一般会計は5,094億円。主な施策では、保育や教育の環境充実など子育て支援に手厚く予算を配分。また、公共交通維持などの課題に目配りした予算となっている。子ども医療費助成の対象に高校生(18歳)まで追加することや、市立学校の体育館のエアコン整備に着手する。災害時の避難所としての機能強化も図る。公共交通の維持は、廃止・減便が相次ぎ、路線住民の不満が高まる、生活交通バス路線維持支援を行う。大宮台から鎌取駅などを結ぶ市内4路線目の「コミュニティバス」を4月から運航。緑区高津戸町で運行しているデマンド型乗り合いタクシーの実施地区に大椎台、下大和田地区を追加し、地域交通の空白化を避ける取組みを行う。

### 主な事業【子ども・教育】

子ども医療助成・18歳まで(34億2,600万円)  
公立保育所での主食提供(6,800万円)  
市立学校体育館に冷暖房設備整備(1億2,000万円)

### 【都市・交通】

バス路線維持支援(7,500万円)  
デマンド型交通の社会実験(2,500万円)  
地域公共交通支援(4,100万円)

# 市長と共に、都市建設委員長としてリーダーシップを発揮。 市議会自民会派が中心にダイヤ改正の決議、意見書を可決。

## 京葉線・外房線・内房線の快速及び通勤快速のダイヤ改正を 再考し、利便性を確保するよう要望する決議(要約)

この改正は、本市の都市基盤や都市経営を揺るがすものであり、通勤時間を考慮し住宅を購入した市民も多く沿線市民の生活を前提から覆す唐突で極端な改正であり改悪と言わざるを得ない。多くの市民がこの改正に困惑し不満を抱えており、市長もJR東日本に対して、快速などの復元を求めている。市民の代表である市議会は、それらの声を拾い上げ、市長と連携して改善を求め続ける必要がある。本市議会は京葉線・外房線・内房線の快速及び通勤快速のダイヤ改正を再考し、利便性を確保するよう強く望むものである。以上、決議する。



神谷市長に要望

## ダイヤ改正における鉄道路線の運行本数の維持や利便性確保に向けた国の積極的関与を求める意見書(要約)

この改正は、他の複数の沿線自治体も同様の考えを表明している。公共交通機関として中心的な役割を担うことから、沿線自治体に与える影響を考慮して、事前協議の場が持たれるよう国からの働きかけが必要である。本市議会は国に対し、ダイヤ改正における鉄道路線の運行本数の維持や利便性確保に向けて、JR東日本への指導等の積極的関与を求めるものである。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

## 京葉線ダイヤ改正の影響等に関する 千葉市のアンケートに ご協力ください

回答はこちらから



【回答可能期間】

3月23日0:00~4月30日23:59

## 京葉線快速縮小で千葉市議会

# 「ダイヤ改正再考」決議案提出へ

3月のJRダイヤ改正に際して臨時議会で提出され、伴う京葉線快速縮小問題、いずれも可決される見通し。千葉市議会都市建設委員会は22日開かれ、26日開催の臨時議会で提出される。同委員会では市側がこれまでに対応を説明。22日午後の1時現在で同問題を取り上げた「市長への手紙」が内容について協議した。決上げた「市長への手紙」が86通届き、うち約7割の59議案はJRにダイヤ改正の再考を、意見書案は利便性確保に向けて国の積極的関与をそれぞれ求める趣旨になる見込み。同委員会での意見を反映させ内容を確定した上で、議会運営委員会を

「ダイヤ改正再考」決議案は、市は定例の改正を待たず今秋頃の改正を期待していることなども示した。委員からは「改正についてJRと事前協議する枠組みが必要」「JRに混雑状況の客観的なデータを提出させるべき」「市も利用状況の把握を」などの意見が出た。また、市議会に直接の説明がないことから、同委員会にJR側を呼んで改正の趣旨などを確認すべきとの意見もあった。

決議案などの趣旨に反対の表明がなかったことから、決議案と意見書案は26日の臨時議会で可決される公算が高まった。同委員会の松坂吉則委員長は「市民の関心が高い。二元代表制の一翼を担う議会として、神谷俊一市長と連携しながら市民の利便性確保に取り組みしていきたい」と話した。

千葉日報  
令和6年1月23日

## 通勤快速廃止「再考求めて」

### 自民千葉市議団、市長に要望

JR京葉線の通勤快速の廃止など快速を縮小する来年3月のJRダイヤ改正に、沿線住民や首長らから撤回を求める声が相次いでいる問題で、千葉市議会の自民党市議団が25日、同市の神谷俊一市長に対して、ダイヤ改正の再考などをJR東日本や関係省庁に働きかけるよう求める要望書を提出した。同市議団の中島賢治幹事長は「朝の1分1秒は大事。市とともに取り組む」と話した。

神谷市長は年内にもJR千葉支社長から説明を受けることを明らかにし「市民生活に大打撃を与えるダイヤ改正。利用者の声を届け、改正の再考を要請していく」と答えた。

要望書では、今回のダイヤ改正について「沿線市民の生活を前提から揺るがす唐突で極端な改悪。都市発展を阻害する要因になりかねない」と指摘。さらに「千葉市を切り捨てる内容」として、市に同改正の再考や



千葉日報  
令和5年12月26日

運行再開などをJR側に働きかけるよう要請。関係省庁にも要望すべきとした。同市議団は今後、国に対する意見書提出に向け、他の会派に賛同を呼びかけられる。緑区選出の松坂吉則市議は「JR側の説明不足は否めない。総武線にも影響が出る可能性がある。公共交通機関として再考を促していきたい」と述べた。